

連絡先：自動車交通局技術安全部審査課リコール対策室

TEL 03-5253-8111 内線 42353

アドレス：http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成20年4月3日

リコール届出番号	2088	リコール開始日	平成20年4月4日		
届出者の氏名又は名称	マツダ株式会社 代表取締役社長 井巻 久一 <table border="1" style="float: right; margin-left: 20px;"> <tr> <td>問い合わせ先：マツダ（株）コールセンター</td> </tr> <tr> <td>TEL 0120-386-919</td> </tr> </table>			問い合わせ先：マツダ（株）コールセンター	TEL 0120-386-919
問い合わせ先：マツダ（株）コールセンター					
TEL 0120-386-919					
不具合の部位（部品名）	(1) かじ取装置（パワーステアリング用油圧ホース） (2) 動力伝達装置（自動変速機用シフトケーブル）				
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	(1) 油圧式パワーステアリングの低圧側油圧ホースの製造工程が不適切なため、ホースが変形しているものがある。そのため、ハンドル操作による油圧変動により、亀裂が生じて作動油が漏れ、最悪の場合、排気管に付着し火災に至るおそれがある。 (2) 自動変速機のシフトケーブルの取り回しが不適切なため、走行中の振動等により、ブレーキパイプと干渉するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、ブレーキパイプの防錆塗装が剥がれて錆が発生し、最悪の場合、錆が進行した箇所からブレーキ液が漏れ、制動力が低下するおそれがある。				
改善措置の内容	(1) 全車両、パワーステアリングの低圧側油圧ホースを対策品と交換する。 (2) 全車両、ブレーキパイプを点検し、防錆塗装が剥れているものは、ブレーキパイプを新品と交換する。また、シフトケーブルに保護材を取り付け、ケーブル固定金具を対策品と交換する。				
不具合件数	(1) 15件 (2) 無し	事故の有無	(1) 火災1件 (2) 無し		
発見の動機	(1) 市場からの情報による。 (2) 社内からの情報による。				
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者：ダイレクトメール等で通知する。 ・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。 ・改善実施済車には、運転者席側ドア開口部のドアストライカー付近にNo. 2088のステッカーを貼付する。 				

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
マツダ	DBA-LY3P	MPV	LY3P-100103-~LY3P-205530 平成17年12月15日~平成20年3月14日	52,513台	(1) 52,513台 (2) 305台
	(計1型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成17年12月15日~平成20年3月14日	(計52,513台)	

【注意事項】リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。